

旧友と傘寿祝う

丸ノ内中 昭和34年度卒業

12回生同期会に80人

松本市の丸ノ内中学校を昭和34(1959)年度に卒業した12回生の同期会(大和光男会長)は14日、松本市巾上のホテルモントーニユ松本で傘寿を祝う会を開いた。約80人が出席して久しぶりに校歌を歌い、会食をして旧友を温めた。写真。

5組の担任だった



佐々木榮一さん(99)が出席し、同窓生に「まだ10年は元気で生きられますから、皆さんも頑張つて」とあい

さつした。東京から参加した等々力康友さん(79)がバイオリン独奏を披露し、クライスラー「前奏曲とアレグロ」と「シンドラーのリスト」のテーマ曲を奏でると会場は大きな拍手に包まれた。

12回生は396人おり、高度経済成長期の勢いがあつた時代に中学生時代を過ごした。祝う会の実行委員長を務めた小林満夫さん(80)「島立」は「遠くは北海道からの参加もあつた。これからも同期のつながりを大切にしていきたい」と話していた。(田子元気)

満夫さん